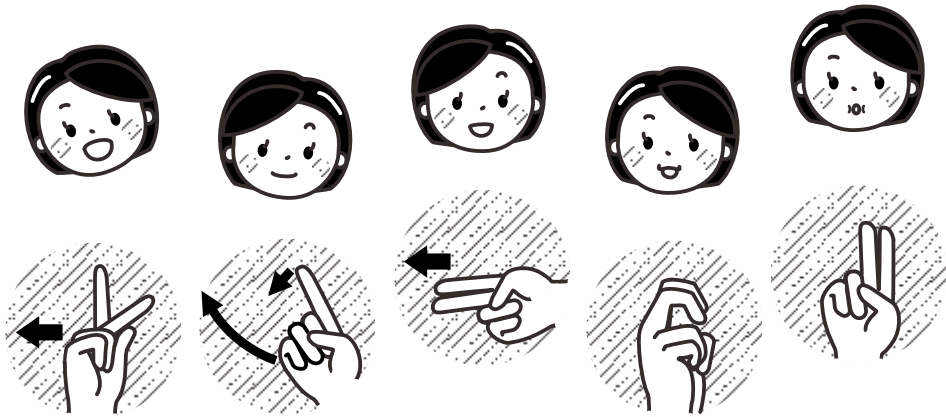


コミュニケーションのしかた

色々な

話し方 手話 指文字 など



宣言

明るい笑顔 すぐ返事 伝える元気

かちどき薬品
げんき君 ホームページ
健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ



コミュニケーションの方法を考えよう

相手によって違う

コミュニケーションとは
気持ち・意見などを、言葉などを通じて
相手に伝えること。意思の疎通。



しかし、誰もが同じように
「聞く・見る・話す・理解する」ことが
できるわけではなく、何らかの障害があり、
一般的なコミュニケーションが
難しい場合があります



体の不自由な方は自分の状態に合わせて
見る・触る・聞く といった
さまざまな手段を用いて
コミュニケーションをしています。



困っている方を見かけた時・何かを伝えたい時・
こちらから歩み寄り、相手に合わせた方法で
コミュニケーションをとることが大切です。

障害の状態とコミュニケーション

同じ障害であっても、その程度は一人ひとり異なり、
外見上では不自由さがわかりにくいことがあります

視覚障害

見えづらい、ぼやける、視野が
欠ける、見える範囲が狭い、
まったく見えないなど、
さまざまです。

◎音声 ◎点字などで
コミュニケーションをとります

★話す時は
聞き取りやすく明瞭に

聴覚障害

片方が聞こえづらい、大きな声
なら聞こえる、補聴器を使えば
聞こえる、音は感じるが会話は
聞きとれない、音を感じないなど。

◎筆談 ◎手話 ◎読話
◎手書き文字など

★話す時は口元や表情が
よく見えるように

視覚障害＋聴覚障害 (盲ろう)

視覚と聴覚の両方が不自由な方。
視力・聴力の程度や、どちらが先に生じたか
によってコミュニケーション方法は異なります。

◎点字 ◎指点字 ◎音声 ◎手話
◎触手話 ◎手書き文字など

★本人の希望や状態に合う方法で

※補聴器には
・耳かけ型
・ポケット型
・眼鏡型 など
色々な形状が
あります。



※白杖は全盲の
方だけではなく、
見えにくい方や
聴覚障害の方
なども使用します。



言語障害

唇・舌などの異常により発声が
難しい、脳梗塞などで言語の
機能が損傷し、聞く・話す・読む・
書くことがうまくできないなど。

★状態に合わせ、ゆっくり
わかりやすく話す

知的障害

知的な機能の程度によって、
話す・書く・読む・理解することが
難しいなど。

★状態や理解度に合わせ、
ゆっくり丁寧に繰り返す

よりよいコミュニケーションの



一方的に伝えようとせず、少し配慮をすると
スムーズに伝わりやすくなります

- まず相手を理解する
- 相手を受けとめ、個人を尊重する
- 状況に応じた配慮や工夫をする

困っていることは
ないかな…?

何を求めて
いるのかな…?

どうしたら
伝わるかな…?

静かな環境で

表情や口元が
見えるように

できればマスクは
外しましょう

まず本人の希望や
状況を把握する

どのような手段で
コミュニケーションをとれば
よいか、たずねましょう

何か聞く時は
答えやすい質問を

できるだけ「はい・いいえ」で
答えられるように問いかけましょう

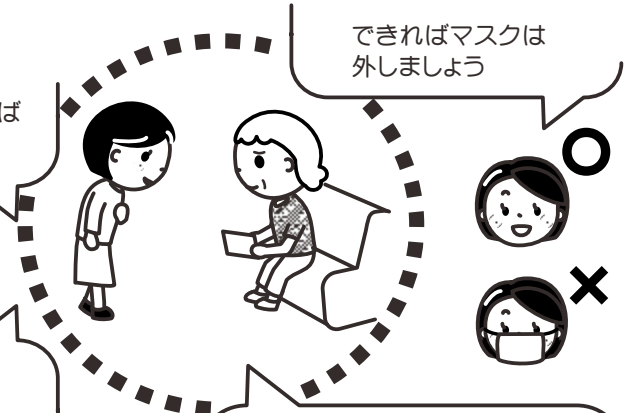
正しく伝わっているか
相手の表情をよく見て
確認しながら

思い違いや押しつけにならない
ように、その場に応じた判断と
対応が必要です

わからない時は
いつでも聞き直せる
雰囲気をつくる

極端に大げさな
伝え方をしない

周囲から目立ってしまったたり
恥ずかしく感じることに
ないようにしましょう



相手に合わせて コミュニケーション

声をかける

目が見えない方にも耳が不自由な方にもまずはこちらから声をかけることがコミュニケーションの第一歩です。



声かけのツツ

- そばに近づいて前から声をかける
- 話しかける時は一人で
- 反応がない時は、驚かせないように軽く肩をたたいて知らせる
- 名乗ってから話しかけると安心感が得られます



話をする

話し方のツツ



※補聴器を使っている方と話をする時は…補聴器に雑音が入る場合があるので、携帯電話の電源を切りましょう。大きな声で話すと、声が響いて聞こえにくくなります。

- 必ず相手の目を見て
- 聞き取りやすい明瞭な声でゆっくり丁寧に話す
- 文章は簡潔にする
- 複数の人が同時に話をしない
- 相手の言葉に耳を傾けて、よく聞く
- 小柄な方に対しては体を低くして、目線の高さを合わせましょう
- 早口・大声でまくしたてないようにしましょう
- 「それ」「あれ」といった、曖昧な表現は避け、具体的に示しましょう



筆談

聴覚の不自由な方に文字を書いて伝えるコミュニケーション方法です。手話ができない場合に役立ちます。



紙と筆記具が無ければ、手のひらに指で文字を書いたり、相手の指を取って文字を書く方法もあります。

筆談のツツ

- 主語・述語を簡潔に
- 短い文章で伝える
- 難しい言い回しはしない
- 読みやすい文字を書く
- 必要に応じて記号や図も加える
- 敬語はなるべく省いて、気持ちは態度や表情で表すようにしましょう
- YESかNO、可か非をはっきりと
- 携帯電話やタブレットも役に立つツールです



どくわ 読話

話し手の口の動きや表情を見て言っていることを理解する方法です。



読話で伝える

- 口の動きを読み取りやすいようにはっきり・ゆっくり話す
- 話の内容に合った表情をする
- 相手が疲れていないか気づかう
- 途中で休憩を入れましょう

口の動きや表情ですべてを理解するのは難しいため、手話や筆談を組み合わせると伝わりやすくなる場合があります。

補聴器を使っている方にも、読話を合わせると伝わりやすくなる場合があります。

手話 耳が聞こえない方とのコミュニケーションに役立ちます。ただし、すべての方に手話を通じるわけではありません。

よく使う手話を覚えよう



こんにちは

- ①右手をチョキにして額にあてる
- ②胸の前で両手の人差し指を立てて向かい合せて同時に曲げる



大丈夫

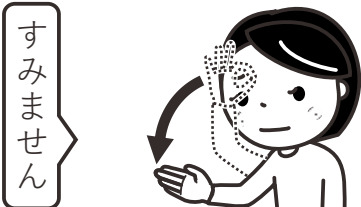
「大丈夫ですか」「大丈夫ですよ」
首をかき上げて うなずきながら

- ①右手の指先を揃えて左胸にあてる
- ②左胸から右胸に移動させる



わかりました

- ①右手で胸を撫で下ろす



すみません

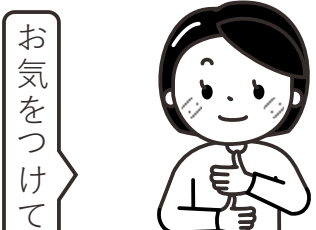
- ①右手の親指と人差し指をつまむような形で、おでこにつける
- ②離すと同時に指を揃えて切るように前に下ろす



ありがとう

軽く会釈しながら

- ①左手の手のひらは下向きにする
- ②右手で上から切るように左手の甲にあてて、上に上げる



お気をつけて

- ①胸の前で両手を握り、上下に重ね胸元に引き寄せる

指文字 ゆびもじ 指で表した形を見て、文字を読み取る方法です。まったく見えない方は手で触って読み取ります。

指で表す**50音** (日本語式指文字) ※相手から見た右手の形です

